

ASEAN諸国勤務に関する意識調査（マイナビ転職）

各種調査はWEB上でも順次公開中
中途採用人事担当者のための採用支援サイト キャリア採用ラボ <https://careerlab.tenshoku.mynavi.jp/>

本資料について ■
本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡下さい。
株式会社マイナビ 転職情報事業本部 調査管理課
E-mail: mt-kenkyu@mynavi.jp



調査目的	ASEAN諸国での勤務に興味がある方を対象として、ASEAN諸国に対する意識を把握する
調査名	ASEAN諸国勤務に関する意識調査
調査地域	全国
調査方法	インターネット調査
対象者	正社員で勤務する25～44歳のうち、転職意向がありASEAN諸国での勤務に興味がある方
回答数	600名

エリア	25～34歳	35～44歳	合計
合計	300	300	600
男性	200	200	400
女性	100	100	200

実施期間 2015年7月21日（火）～7月23日（木）

実施機関 外部調査会社

調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

(1) ASEAN諸国での海外勤務について

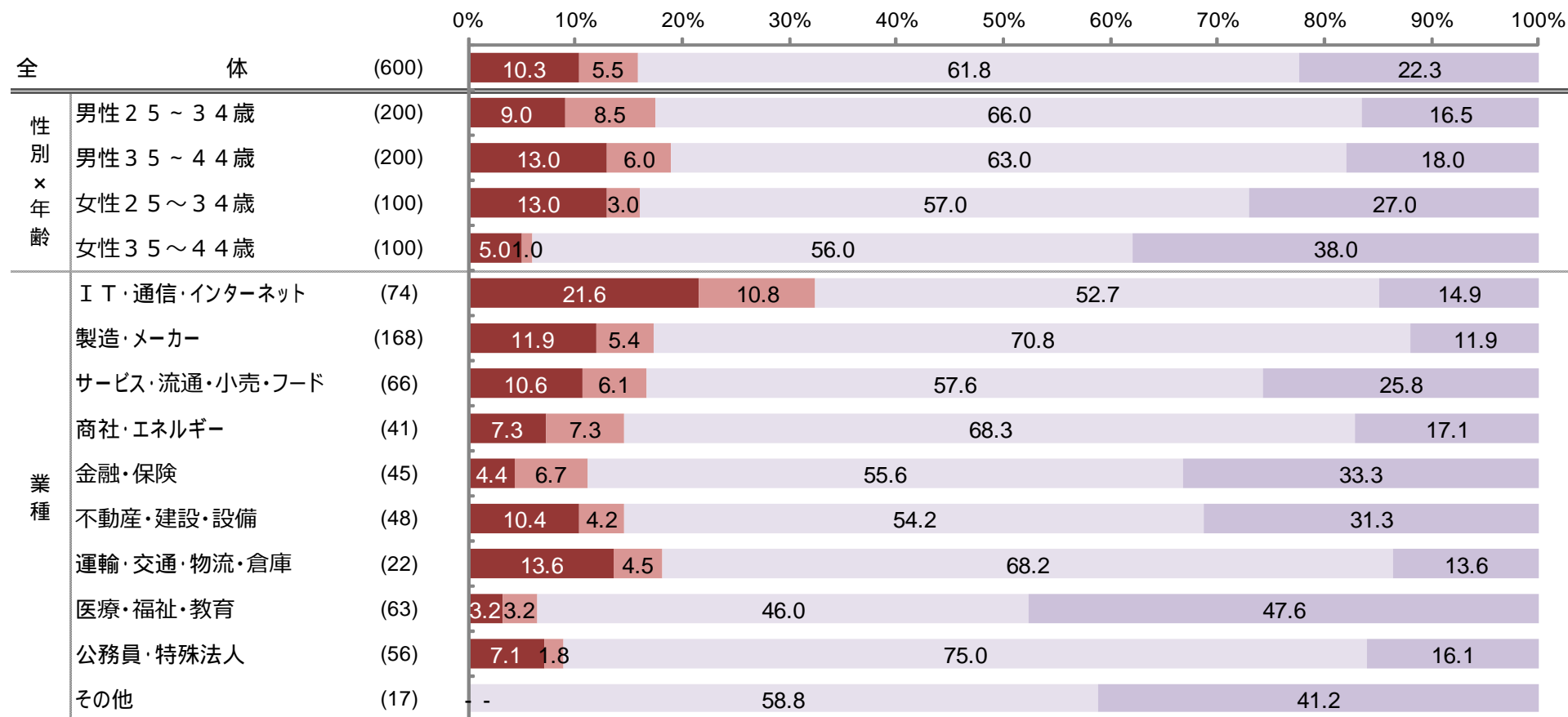
全体では、「ASEAN勤務の経験はないが、現在勤務している会社で機会があればぜひしてみたい」が61.8%で最も高い。「ASEAN勤務の経験はないが、ぜひ経験したいのでチャンスのある会社に転職したい」が22.3%で続く。ASEAN勤務経験者も1割存在。性別×年齢でみると、『女性35～44歳』は、「・・・チャンスのある会社に転職したい」が約4割に達する。

【業種別の特徴】 一部小サンプルのため参考値

- ・『IT・通信・インターネット』は、「既にASEAN勤務の経験があり・・・」が2割を超え、他の業種に比べてASEAN勤務経験者の割合が高め。
- ・『医療・福祉・教育』は、「・・・チャンスのある会社に転職したい」が約5割に達し、他の業種に比べて転職意向の強い人の割合が高い。
- ・『製造・メーカー』『公務員・特殊法人』は、「・・・現在勤めている会社で機会があればぜひしてみたい」が7割を超え、他の業種に比べて高め。

Q . 東南アジアのASEAN諸国での海外勤務について、当てはまるものをひとつお選び

ください。ただし、ここでの海外勤務とは、出張ではなく半年以上の赴任を指します。



- 既にASEAN勤務の経験があり、ぜひまた勤務してみたい、もしくはする予定がある
- ASEAN勤務の経験はないが、近々勤務の予定が具体的に決まっている
- ASEAN勤務の経験はないが、現在勤めている会社で機会があればぜひしてみたい
- ASEAN勤務の経験はないが、ぜひ経験したいのでチャンスのある会社に転職したい

(2) ASEAN諸国の勤務希望国

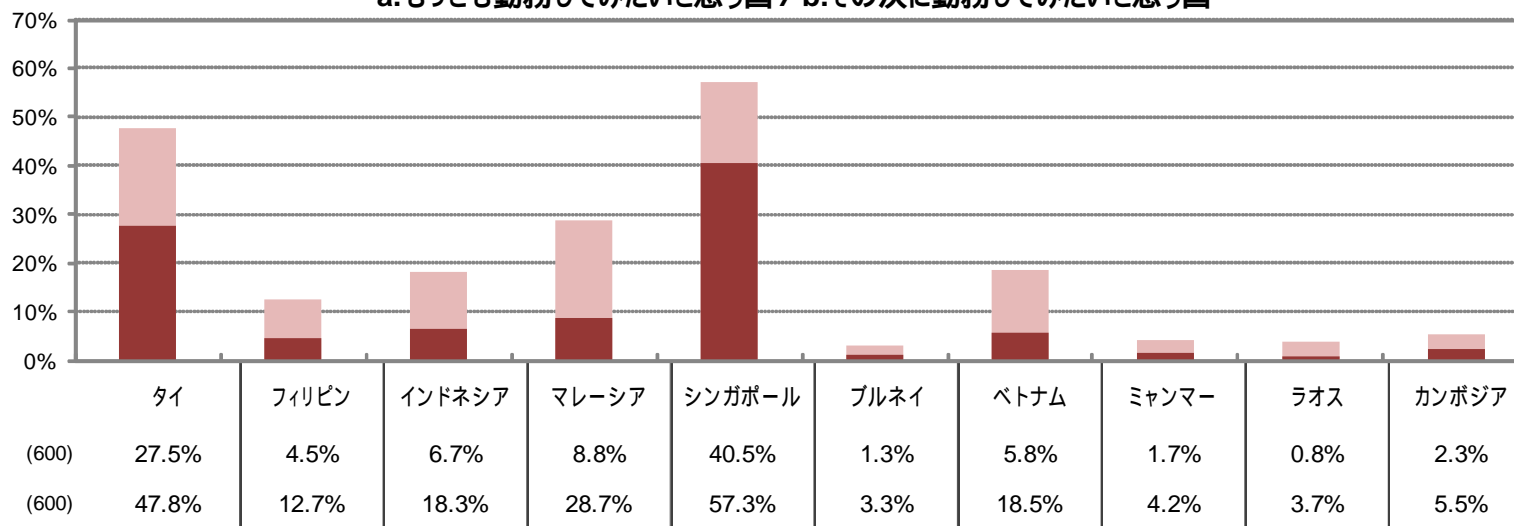
全体では、1位、1位・2位合算ともに、「シンガポール」が最も高く（1位：40.5%・1位・2位合算：57.3%）、「タイ」（1位：27.5%・1位・2位合算：47.8%）が続く。性別で見ると、女性は「シンガポール」を勤務希望国とする割合が高く、特に『女性25～34歳』では約7割に達する（1位・2位合算）。

【業種別の特徴】 一部小サンプルのため参考値

- ・『製造・メーカー』は、「タイ」を勤務希望国とする割合が53.6%と他の業種に比べて高め（1位・2位合算）。
- ・『金融・保険』は、1位・2位合算で見ると、「シンガポール」を勤務希望国とする割合が7割を超え、他の業種と比較して高い。1位のみで見ても、同様の傾向。「シンガポール」は国際的な金融センターであるため、勤務を希望する人の割合が高いと推察される。

Q . ASEAN諸国の中でもっとも勤務してみたいと思う国、その次に勤務してみたいと思う国を1カ国ずつ選択してください。

a.もっとも勤務してみたいと思う国 / b.その次に勤務してみたいと思う国



性別 × 年齢	サンプル数	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ブルネイ	ベトナム	ミャンマー	ラオス	カンボジア	
		男性 25～34歳	(200)	27.0%	6.0%	9.0%	9.0%	40.0%	0.5%	4.0%	1.5%	1.5%
男性 35～44歳	(200)	33.0%	5.0%	8.0%	7.5%	36.0%	0.5%	6.0%	2.0%	0.5%	1.5%	
女性 25～34歳	(100)	21.0%	3.0%	2.0%	8.0%	50.0%	1.0%	9.0%	-	-	6.0%	
女性 35～44歳	(100)	24.0%	2.0%	4.0%	12.0%	41.0%	5.0%	6.0%	3.0%	1.0%	2.0%	
業種	I T・通信・インターネット	(74)	27.0%	5.4%	9.5%	9.5%	41.9%	-	4.1%	-	1.4%	1.4%
	製造・メーカー	(168)	29.8%	7.1%	6.5%	7.1%	41.1%	0.6%	5.4%	1.2%	-	1.2%
	サービス・流通・小売・フード	(66)	25.8%	4.5%	13.6%	13.6%	28.8%	3.0%	3.0%	3.0%	-	4.5%
	商社・エネルギー	(41)	26.8%	-	4.9%	17.1%	36.6%	2.4%	7.3%	4.9%	-	-
	金融・保険	(45)	22.2%	6.7%	2.2%	6.7%	57.8%	-	4.4%	-	-	-
	不動産・建設・設備	(48)	25.0%	2.1%	10.4%	8.3%	37.5%	-	8.3%	-	2.1%	6.3%
	運輸・交通・物流・倉庫	(22)	27.3%	4.5%	4.5%	4.5%	50.0%	4.5%	4.5%	-	-	-
	医療・福祉・教育	(63)	25.4%	1.6%	3.2%	6.3%	42.9%	-	9.5%	3.2%	1.6%	6.3%
	公務員・特殊法人	(56)	32.1%	3.6%	1.8%	7.1%	39.3%	1.8%	5.4%	3.6%	3.6%	1.8%
	その他	(17)	29.4%	-	5.9%	11.8%	29.4%	11.8%	11.8%	-	-	-

数表の値は1位のみ

(3) 勤務希望国を希望する理由

希望が多くあがった国に対して、希望する理由をみると、『シンガポール』は、「治安が比較的良いから」が55.5%で最も高く、「既にインフラも整っており、東南アジアを牽引する存在だから」が45.3%で続く。これらの項目は他の国と比較しても高い。ASEANの中では先進国であることが希望される要因と推察される。2番目に希望が多くあがった『タイ』は、「親日的な国・国民性だから」が最も高く5割を超え、他の国と比較しても高い。3番目に希望が多くあがった『マレーシア』は、「治安が比較的良いから」が41.9%で最も高い。『タイ』及び『マレーシア』は「物価が安く、日本と比べると豊かな生活が送れそうだから」がともに約4割に達し、他の国に比べて高め。4番目・5番目に希望が多くあがった『ベトナム』『インドネシア』は、「今後の高い経済成長が期待できるから」がそれぞれ48.6%、40.9%と最も高く、他の国に比べても高め。「親日的な国・国民性だから」がそれぞれ42.3%、36.4%で続く。将来性と親日性が勤務希望国にあげられていることに寄与している模様。

Q.勤務してみたい国として2ヵ国を選んだ理由として、あてはまるものを全てお選びください。

	タイ (N=287)	フィリピン (N=76)	インドネシア (N=110)	マレーシア (N=172)	シンガポール (N=344)
今後の高い経済成長が期待できるから	24.7%	25.0%	40.9%	35.5%	25.6%
既にインフラも整っており、東南アジアを牽引する存在になると思うから	16.4%	14.5%	16.4%	24.4%	45.3%
人口増加が予想され、将来的な潜在性が大きいから	12.2%	19.7%	26.4%	15.1%	8.7%
インフラが未整備な分、今後の開発余地が大きいから	11.8%	11.8%	16.4%	6.4%	6.1%
政治的に安定しているから	10.5%	11.8%	6.4%	18.6%	36.0%
治安が比較的良いから	26.1%	15.8%	20.9%	41.9%	55.5%
親日的な国・国民性だから	56.8%	34.2%	36.4%	35.5%	27.9%
文化や芸術、歴史に興味があるから	24.0%	19.7%	25.5%	19.8%	15.4%
英語が良く通じ、語学面でのハードルが低いから	12.9%	36.8%	14.5%	33.1%	40.7%
物価が安く、日本と比べると豊かな生活が送れそうだから	38.3%	26.3%	30.9%	38.4%	10.8%

	ブルネイ (N=20)	ベトナム (N=111)	ミャンマー (N=25)	ラオス (N=22)	カンボジア (N=33)
今後の高い経済成長が期待できるから	35.0%	48.6%	44.0%	22.7%	33.3%
既にインフラも整っており、東南アジアを牽引する存在になると思うから	10.0%	8.1%	4.0%	4.5%	-
人口増加が予想され、将来的な潜在性が大きいから	10.0%	28.8%	44.0%	18.2%	21.2%
インフラが未整備な分、今後の開発余地が大きいから	15.0%	18.9%	48.0%	45.5%	27.3%
政治的に安定しているから	25.0%	8.1%	-	18.2%	-
治安が比較的良いから	20.0%	26.1%	8.0%	36.4%	15.2%
親日的な国・国民性だから	20.0%	42.3%	36.0%	31.8%	39.4%
文化や芸術、歴史に興味があるから	20.0%	26.1%	32.0%	22.7%	39.4%
英語が良く通じ、語学面でのハードルが低いから	15.0%	3.6%	12.0%	13.6%	15.2%
物価が安く、日本と比べると豊かな生活が送れそうだから	10.0%	41.4%	24.0%	40.9%	27.3%

(4) ASEAN諸国のイメージ

10カ国平均では、「今後の高い経済成長が期待できる」が27.5%で最も高く「親日的な国・国民性である」(26.9%)「日本にとっての重要性が非常に高い国である」(24.4%)が続く。

【国別の特徴】

- ・『シンガポール』は、「先進的な経済中心地として、東南アジアを牽引する存在の一つである」「グローバルなビジネス環境である」が5割を超える。「政治的に安定し、治安が比較的良い」「日本にとっての重要性が非常に高い国である」もそれぞれ46.0%、34.7%で、他の国と比較して高い。グローバルなビジネスパートナーとして認識されている模様。
- ・『タイ』は「親日的な国・国民性である」が52.7%で最も高く、「日本にとっての重要性が非常に高い国である」が41.0%で続き、どちらも他の国と比較して最も高い。
- ・『インドネシア』『ベトナム』は、「今後の高い経済成長が期待できる」が3割を超え、他の国と比較してやや高め。
- ・『ブルネイ』『ミャンマー』『ラオス』『カンボジア』は、「ローカルなビジネス環境である」が3割程度と高め。更に、『ミャンマー』『カンボジア』は「政治的に不安定であり、治安も良くない」も3割存在。

Q.あなたがASEAN諸国に抱くイメージとして、あてはまるものを全てお選びください。

(各N=600)	10カ国平均	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール
今後の高い経済成長が期待できる	27.5%	28.2%	26.7%	35.0%	29.7%	22.8%
親日的な国・国民性である	26.9%	52.7%	29.5%	28.2%	25.3%	26.8%
日本にとっての重要性が非常に高い国である	24.4%	41.0%	24.7%	33.2%	26.2%	34.7%
ローカルなビジネス環境である	20.9%	12.5%	15.5%	13.8%	13.2%	8.7%
人口増加やインフラ整備が予想され、将来的なポテンシャルが高い	19.9%	19.5%	17.3%	25.2%	21.0%	16.0%
政治的に不安定であり、治安も良くない	16.9%	15.8%	19.5%	14.0%	6.7%	5.2%
グローバルなビジネス環境である	16.8%	24.0%	16.7%	18.2%	21.8%	50.7%
地政学的なリスクを抱えている	15.5%	13.2%	18.5%	12.5%	7.3%	7.7%
政治的に安定し、治安が比較的良い	15.4%	16.5%	9.8%	11.7%	23.7%	46.0%
先進的な経済中心地として、東南アジアを牽引する存在の一つである	14.6%	23.8%	9.3%	14.7%	18.5%	50.8%

	10カ国平均	ブルネイ	ベトナム	ミャンマー	ラオス	カンボジア
今後の高い経済成長が期待できる	27.5%	19.2%	35.2%	29.2%	23.0%	25.7%
親日的な国・国民性である	26.9%	17.8%	29.0%	20.2%	16.8%	22.7%
日本にとっての重要性が非常に高い国である	24.4%	13.3%	26.7%	16.5%	13.2%	14.5%
ローカルなビジネス環境である	20.9%	32.3%	20.2%	29.0%	35.3%	28.0%
人口増加やインフラ整備が予想され、将来的なポテンシャルが高い	19.9%	11.7%	25.3%	23.7%	18.2%	21.5%
政治的に不安定であり、治安も良くない	16.9%	12.2%	13.5%	30.3%	22.7%	29.5%
グローバルなビジネス環境である	16.8%	8.2%	9.5%	6.0%	6.0%	7.2%
地政学的なリスクを抱えている	15.5%	13.5%	17.0%	22.7%	21.0%	22.0%
政治的に安定し、治安が比較的良い	15.4%	13.8%	12.3%	6.7%	7.2%	6.7%
先進的な経済中心地として、東南アジアを牽引する存在の一つである	14.6%	5.8%	8.8%	5.7%	4.3%	3.8%

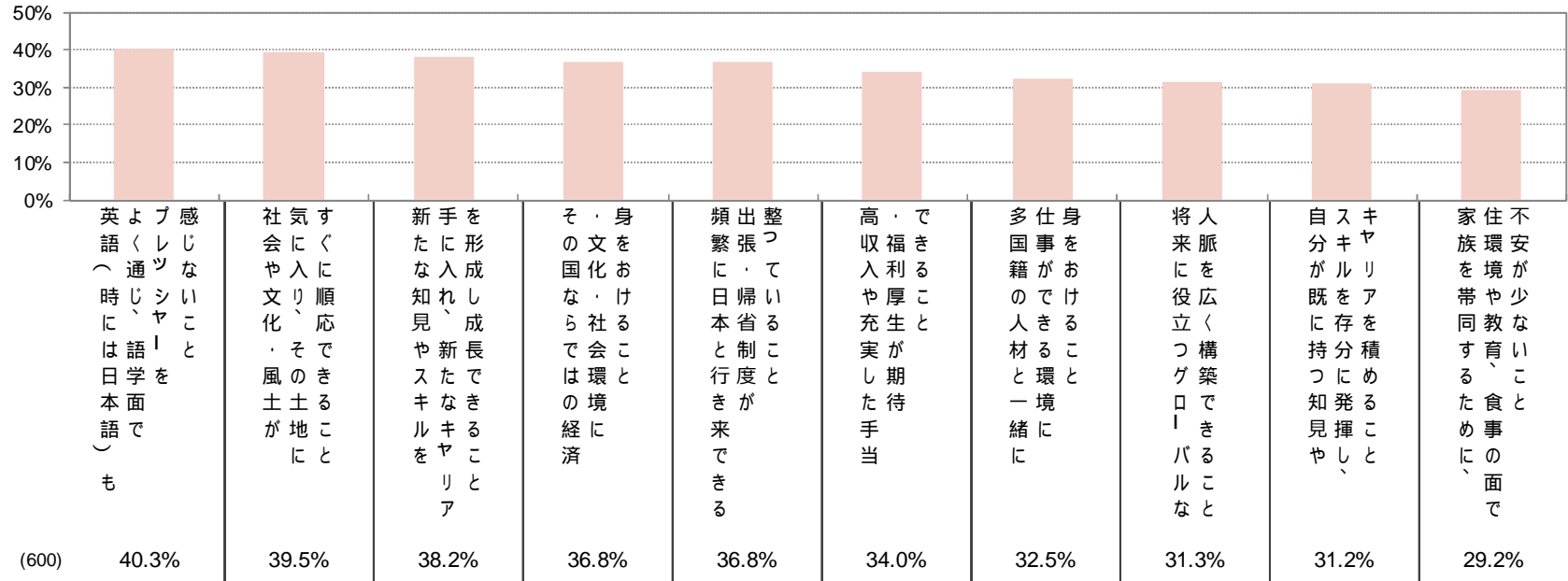
(5) ASEAN諸国で勤務する際の重視点

全体では、「英語もよく通じ、語学面でプレッシャーを感じないこと」が40.3%で最も高く、「社会や文化・風土が気に入り、その土地にすぐに順応できること」が39.5%で続く。これらは『女性35～44歳』で特に高い。性別で見ると、「多国籍の人材と一緒に仕事ができる環境に身を置くこと」及び「自分が既に持つ知見やスキルを存分に発揮し、キャリアを積めること」は男性に比べて女性の方が高め。

【勤務希望国別の特徴】

・『ブルネイ』『ミャンマー』『ラオス』は、「その国ならではの経済・文化・社会環境に身を置くこと」が5割を超え、他の国と比較して高い。 小サンプルのため参考値

Q. ご自身がASEAN諸国で勤務する場合に重視する点として、あてはまるものを全てお選びください。



性別 × 年齢	人数	重視点 (%)										
		英語もよく通じ、語学面でプレッシャーを感じないこと	社会や文化・風土が気に入り、その土地にすぐに順応できること	多国籍の人材と一緒に仕事ができる環境に身を置くこと	自分が既に持つ知見やスキルを存分に発揮し、キャリアを積めること	頻りに出張・帰省・日本と行き来できること	高収入・厚給当りや充実した手当	多国籍の人材と一緒に仕事ができること	将来に役立ち、成長できること	自分自身がキャリアを積めること	家族環境が少なくて、食生活の面で不安がないこと	
全体	600	40.3%	39.5%	38.2%	36.8%	36.8%	34.0%	32.5%	31.3%	31.2%	29.2%	
性別 × 年齢	男性 25～34歳	(200)	35.5%	33.0%	38.0%	36.0%	31.5%	29.5%	29.5%	29.0%	26.5%	31.5%
	男性 35～44歳	(200)	38.0%	38.5%	36.5%	36.0%	36.5%	36.0%	29.0%	31.0%	29.0%	30.0%
	女性 25～34歳	(100)	42.0%	39.0%	42.0%	34.0%	40.0%	36.0%	40.0%	39.0%	38.0%	31.0%
	女性 35～44歳	(100)	▲ 53.0%	▲ 55.0%	38.0%	43.0%	45.0%	37.0%	38.0%	29.0%	38.0%	21.0%
勤務希望国 (1位+2位)	タイ	(287)	37.6%	39.7%	33.8%	31.4%	38.3%	34.1%	28.2%	28.2%	28.6%	27.5%
	フィリピン	(76)	43.4%	▼ 27.6%	▼ 23.7%	▼ 26.3%	▼ 25.0%	34.2%	28.9%	32.9%	27.6%	▼ 17.1%
	インドネシア	(110)	32.7%	40.9%	43.6%	34.5%	37.3%	32.7%	35.5%	31.8%	31.8%	30.9%
	マレーシア	(172)	45.3%	43.6%	41.9%	40.1%	38.4%	36.0%	34.9%	33.1%	37.2%	36.0%
	シンガポール	(344)	44.5%	38.1%	39.2%	36.0%	39.8%	39.5%	32.8%	32.8%	32.0%	32.0%
	ブルネイ	(20)	40.0%	30.0%	35.0%	▲ 55.0%	▼ 25.0%	▼ 20.0%	35.0%	25.0%	25.0%	▼ 10.0%
	ベトナム	(111)	31.5%	41.4%	40.5%	41.4%	28.8%	25.2%	31.5%	31.5%	28.8%	25.2%
	ミャンマー	(25)	32.0%	48.0%	▲ 52.0%	▲ 68.0%	32.0%	▼ 24.0%	▲ 48.0%	40.0%	36.0%	28.0%
	ラオス	(22)	▲ 59.1%	45.5%	45.5%	▲ 54.5%	▲ 54.5%	36.4%	31.8%	▼ 18.2%	36.4%	22.7%
	カンボジア	(33)	36.4%	42.4%	39.4%	45.5%	36.4%	▼ 12.1%	42.4%	33.3%	24.2%	30.3%

▲ : 全体より+10pt.以上 ▼ : 全体より-10pt.以下

(5) ASEAN諸国で勤務する際の重視点

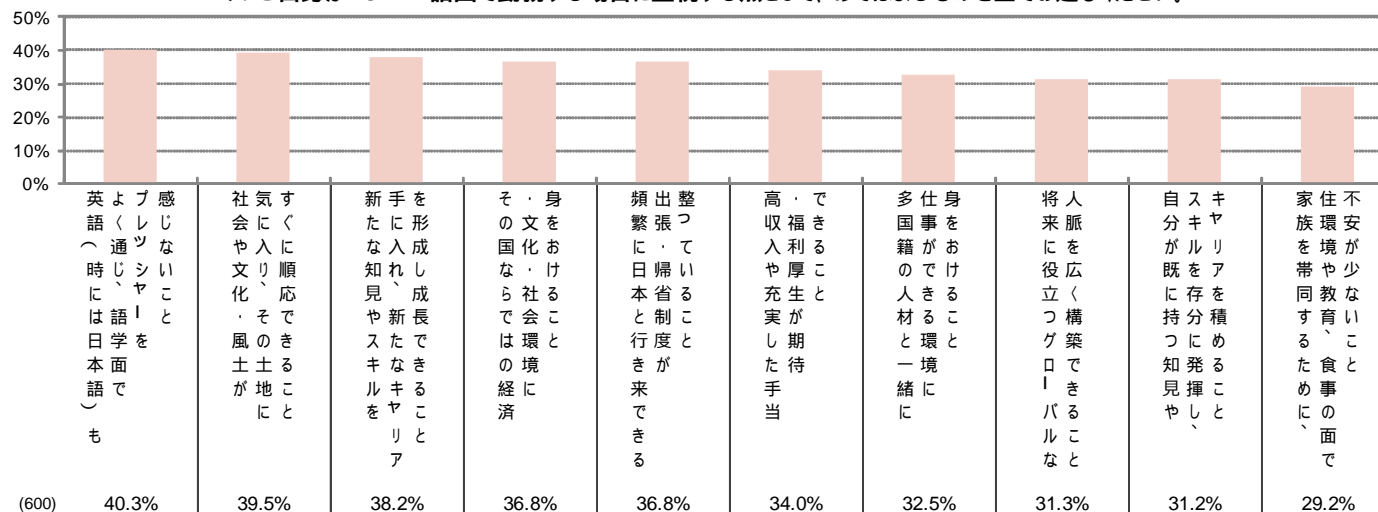
【業種別の特徴】 一部小サンプルのため参考値

- 『サービス・流通・小売・フード』は、「自分が既に持つ知見やスキルを存分に発揮し、キャリアを積めること」が4割を超え、他の業種と比較して高い。
- 『医療・福祉・教育』は、「多国籍の人材と一緒に仕事ができる環境に身を置くこと」が4割を超え、他の業種と比較して高い。
- 『公務員・特殊法人』は、「社会や文化・風土が気に入る、その土地にすぐに順応できること」「その国ならではの経済・文化・社会環境に身を置くこと」が5割を超え、他の業種と比較して高い。

【職種別の特徴】 一部小サンプルのため参考値

- 『サービス・販売・店長職』は、「頻繁に日本と行き来できる出張・帰省制度が整っていること」「高収入や充実した手当・福利厚生が期待できること」が4割を超え、他の職種と比較して高い。高待遇を重視点としてあげている割合が高い模様。
- 『経理・財務・法務』は、他の職種と比べて「・・・その土地にすぐに順応できること」が5割を超えて高い反面、「・・・語学面でプレッシャーを感じないこと」は3割を下回り低い。
- 『専門職』は、「・・・語学面でプレッシャーを感じないこと」「新たな知見やスキルを手に入れ、新たなキャリアを形成し成長できること」が5割を超え、他の業種と比較して高い。

Q. ご自身がASEAN諸国で勤務する場合に重視する点として、あてはまるものを全てお選びください。



業種	サンプル数	英語（時には日本語）もよく通じ、プレッシャーを感じないこと	社会や文化・風土が気に入る、その土地にすぐに順応できること	新たな知見やスキルを形成し成長できること	その国ならではの社会環境に身を置くこと	頻繁に日本と行き来できる出張・帰省制度が整っていること	高収入や充実した手当・福利厚生が期待できること	多国籍の人材と一緒に仕事ができること	将来に役立つ構築できる環境	自分のキャリアを存分に活かせること	家族環境が安定していること
IT・通信・インターネット	(74)	36.5%	33.8%	28.4%	27.0%	32.4%	37.8%	29.7%	35.1%	32.4%	32.4%
製造・メーカー	(168)	34.5%	36.3%	39.9%	36.3%	35.1%	32.1%	31.0%	30.4%	29.8%	28.6%
サービス・流通・小売・フード	(66)	42.4%	42.4%	37.9%	39.4%	31.8%	42.4%	36.4%	22.7%	▲42.4%	27.3%
商社・エネルギー	(41)	43.9%	48.8%	46.3%	31.7%	36.6%	34.1%	36.6%	24.4%	▲31.7%	19.5%
金融・保険	(45)	42.2%	33.3%	▼24.4%	35.6%	42.2%	40.0%	26.7%	35.6%	▼20.0%	35.6%
不動産・建設・設備	(48)	33.3%	35.4%	37.5%	29.2%	35.4%	25.0%	22.9%	39.6%	29.2%	27.1%
運輸・交通・物流・倉庫	(22)	40.9%	31.8%	▲50.0%	31.8%	31.8%	31.8%	22.7%	22.7%	31.8%	31.8%
医療・福祉・教育	(63)	46.0%	42.9%	41.3%	41.3%	41.3%	34.9%	▲42.9%	38.1%	34.9%	28.6%
公務員・特殊法人	(56)	48.2%	▲50.0%	41.1%	▲51.8%	42.9%	30.4%	30.4%	32.1%	26.8%	26.8%
その他	(17)	▲64.7%	▲52.9%	47.1%	▲52.9%	▲52.9%	▼23.5%	▲58.8%	23.5%	29.4%	▲47.1%
営業職	(111)	37.8%	29.7%	37.8%	32.4%	31.5%	29.7%	29.7%	35.1%	25.2%	32.4%
サービス・販売・店長職	(57)	40.4%	43.9%	35.1%	36.8%	▲50.9%	▲47.4%	29.8%	28.1%	31.6%	29.8%
総合事務	(128)	46.9%	43.0%	35.2%	37.5%	39.1%	37.5%	34.4%	28.9%	35.9%	32.8%
経理・財務・法務	(58)	▼29.3%	▲51.7%	31.0%	36.2%	37.9%	32.8%	29.3%	25.9%	27.6%	20.7%
メーカー技術職	(85)	35.3%	41.2%	34.1%	29.4%	36.5%	25.9%	29.4%	24.7%	31.8%	24.7%
高度専門技術職	(25)	▼24.0%	▼20.0%	32.0%	▲48.0%	▼24.0%	32.0%	▲44.0%	▲52.0%	24.0%	24.0%
IT技術職	(41)	41.5%	▼22.0%	41.5%	34.1%	▼26.8%	31.7%	29.3%	34.1%	34.1%	31.7%
専門職	(51)	▲51.0%	39.2%	▲54.9%	▲47.1%	45.1%	39.2%	35.3%	39.2%	35.3%	33.3%
労務職	(21)	▼28.6%	47.6%	▲52.4%	38.1%	▼19.0%	▼23.8%	23.8%	▼14.3%	▼14.3%	▼19.0%
その他	(23)	▲65.2%	▲65.2%	47.8%	▲52.2%	43.5%	39.1%	▲56.5%	▲43.5%	▲47.8%	30.4%

▲: 全体より+10pt.以上 ▼: 全体より-10pt.以下

(6) ASEANでの勤務経験の役立て方

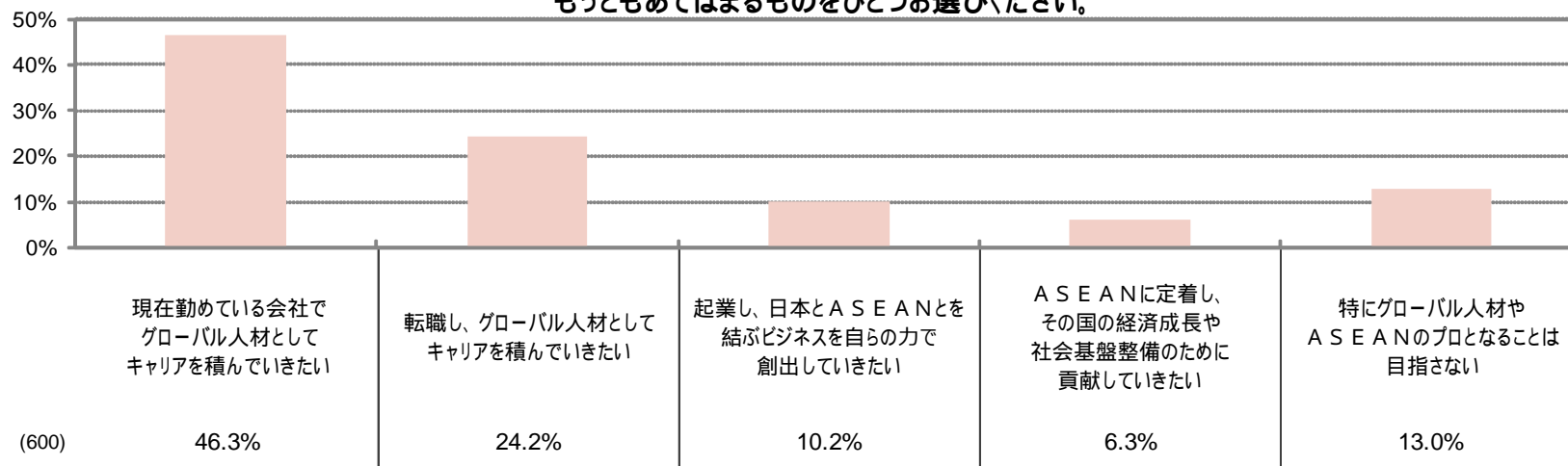
全体では、「現在勤めている会社でグローバル人材としてキャリアを積んでいきたい」が46.3%で最も高く、「転職し、グローバル人材としてキャリアを積んでいきたい」が24.2%で続く。性別×年齢でみると、『女性35～44歳』は「現在勤めている会社で・・・」は34.0%と全体に比べて低い一方、「特にグローバル人材やASEANのプロとなることは目指さない」は2割強存在し、全体に比べて高い。

【業種別の特徴】 一部小サンプルのため参考値

- ・『製造・メーカー』は、「現在勤めている会社で・・・」が6割を超え、他の業種と比較して高い。現在の職場でのキャリアアップを望む人の割合が高い。
- ・『商社・エネルギー』は、「起業し、日本とASEANとを結ぶビジネスを自らの力で創出していきたい」が約2割存在し、他の業種と比較してアントレプレナーシップが高め。
- ・『医療・福祉・教育』は、「転職し、グローバル人材としてキャリアを積んでいきたい」が約4割存在し、他の業種と比較して、転職によるキャリアアップを望む人の割合が高い模様。

Q. あなたがもしASEAN諸国で勤務した場合、その経験を将来どのように役立てたいと考えますか。

もっともあてはまるものをひとつお選びください。



性別 × 年齢	サンプル数	役立てたい方法					
		現在勤めている会社でグローバル人材としてキャリアを積んでいきたい	転職し、グローバル人材としてキャリアを積んでいきたい	起業し、日本とASEANとを結ぶビジネスを自らの力で創出していきたい	ASEANに定着し、その国の経済成長や社会基盤整備のために貢献していきたい	特にグローバル人材やASEANのプロとなることは目指さない	
男性 25～34歳	(200)	48.0%	27.0%	12.0%	3.0%	10.0%	
男性 35～44歳	(200)	51.0%	18.0%	10.0%	9.0%	12.0%	
女性 25～34歳	(100)	46.0%	29.0%	6.0%	9.0%	10.0%	
女性 35～44歳	(100)	▼ 34.0%	26.0%	11.0%	5.0%	▲ 24.0%	
業種	IT・通信・インターネット	(74)	48.6%	29.7%	2.7%	4.1%	14.9%
	製造・メーカー	(168)	▲ 62.5%	19.6%	6.0%	3.6%	8.3%
	サービス・流通・小売・フード	(66)	43.9%	16.7%	18.2%	7.6%	13.6%
	商社・エネルギー	(41)	39.0%	24.4%	19.5%	12.2%	4.9%
	金融・保険	(45)	44.4%	31.1%	8.9%	4.4%	11.1%
	不動産・建設・設備	(48)	▼ 35.4%	25.0%	10.4%	12.5%	16.7%
	運輸・交通・物流・倉庫	(22)	54.5%	▼ 13.6%	4.5%	4.5%	22.7%
	医療・福祉・教育	(63)	▼ 23.8%	▲ 38.1%	14.3%	7.9%	15.9%
	公務員・特殊法人	(56)	44.6%	21.4%	12.5%	5.4%	16.1%
	その他	(17)	▼ 17.6%	23.5%	17.6%	11.8%	▲ 29.4%

▲: 全体より+10pt.以上 ▼: 全体より-10pt.以下

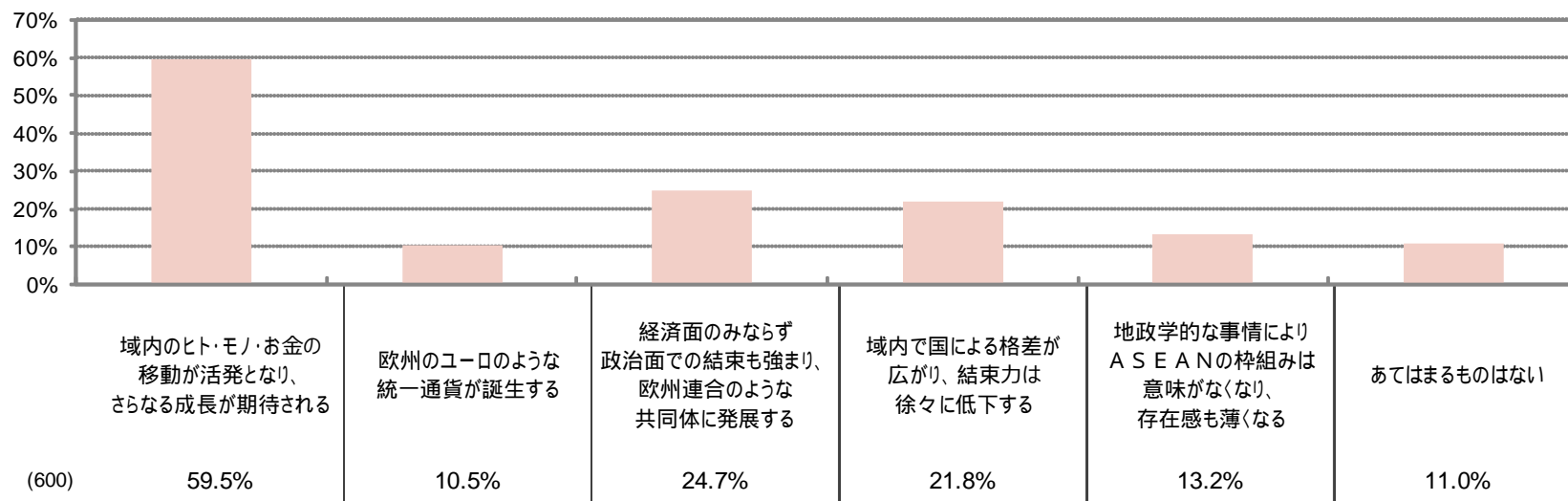
(7) 今後のASEANの動向について

全体では、「域内のヒト・モノ・お金の移動が活発となり、さらなる成長が期待される」が約6割で最も高く、「経済面のみならず政治面での結束も強まり、欧州連合のような共同体に発展する」が24.7%で続き、ポジティブな回答の割合が高い。一方、「域内で国による格差が広がり、結束力は徐々に低下する」も2割強存在。

【業種別の特徴】 一部小サンプルのため参考値

- ・『IT・通信・インターネット』は、「域内で国による格差が広がり、結束力は徐々に低下する」が3割を上回り、他の業種と比較して高い。
- ・『製造・メーカー』『公務員・特殊法人』は、「域内のヒト・モノ・お金の移動が活発となり、さらなる成長が期待される」が約7割に達し、他の業種と比較して高め。

Q. 今後のASEANの動向についての予想として、あてはまるものを全てお選びください。

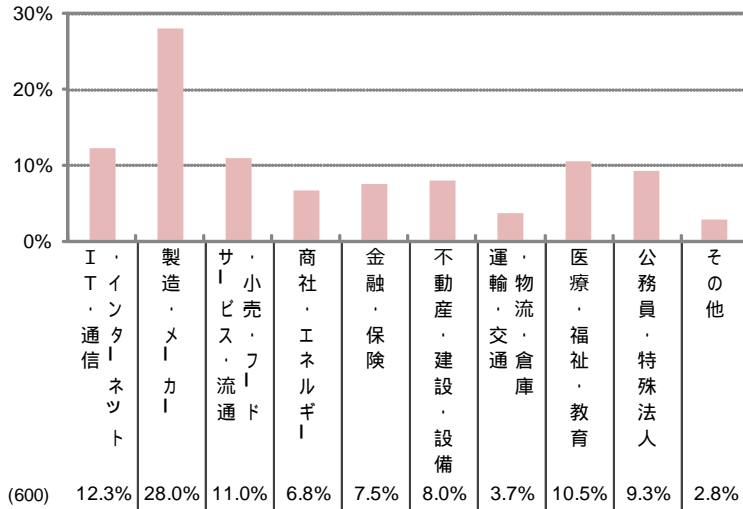


性別 × 年齢	サンプル数	今後のASEANの動向についての予想						
		域内のヒト・モノ・お金の移動が活発となり、さらなる成長が期待される	欧州のユーロのような統一通貨が誕生する	経済面のみならず政治面での結束も強まり、欧州連合のような共同体に発展する	域内で国による格差が広がり、結束力は徐々に低下する	地政学的な事情によりASEANの枠組みは意味がなくなり、存在感も薄くなる	あてはまるものはない	
全体	(600)	59.5%	10.5%	24.7%	21.8%	13.2%	11.0%	
男性 25～34歳	(200)	56.0%	10.5%	27.0%	25.0%	16.0%	8.0%	
男性 35～44歳	(200)	63.0%	10.0%	24.0%	18.0%	13.5%	11.0%	
女性 25～34歳	(100)	63.0%	13.0%	21.0%	25.0%	10.0%	14.0%	
女性 35～44歳	(100)	56.0%	9.0%	25.0%	20.0%	10.0%	14.0%	
業種	IT・通信・インターネット	(74)	▼ 48.6%	14.9%	25.7%	▲ 32.4%	16.2%	10.8%
	製造・メーカー	(168)	69.0%	7.1%	20.8%	25.0%	10.1%	5.4%
	サービス・流通・小売・フード	(66)	▼ 45.5%	15.2%	27.3%	21.2%	18.2%	16.7%
	商社・エネルギー	(41)	58.5%	9.8%	34.1%	22.0%	17.1%	4.9%
	金融・保険	(45)	60.0%	8.9%	31.1%	15.6%	20.0%	6.7%
	不動産・建設・設備	(48)	54.2%	10.4%	20.8%	18.8%	14.6%	14.6%
	運輸・交通・物流・倉庫	(22)	54.5%	13.6%	▼ 13.6%	22.7%	13.6%	▲ 22.7%
	医療・福祉・教育	(63)	60.3%	7.9%	22.2%	15.9%	6.3%	15.9%
	公務員・特殊法人	(56)	67.9%	14.3%	30.4%	14.3%	14.3%	12.5%
	その他	(17)	58.8%	5.9%	23.5%	17.6%	-	▲ 23.5%

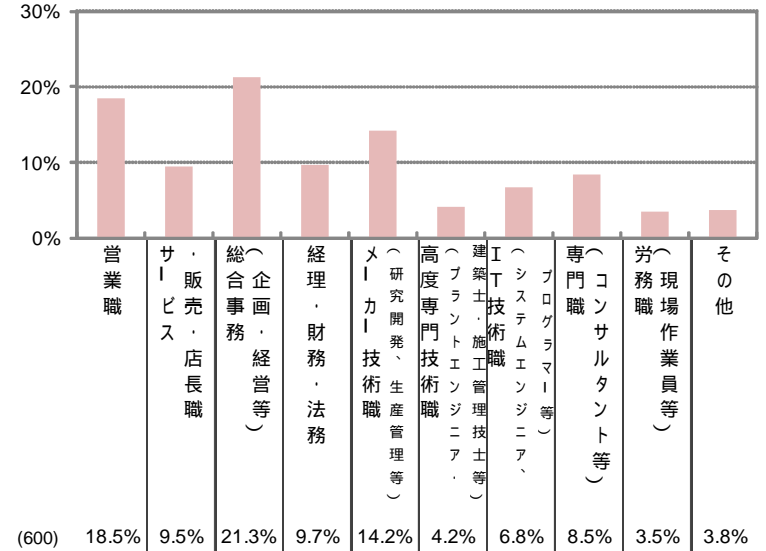
▲: 全体より+10pt.以上 ▼: 全体より-10pt.以下

Appendix

業 種



職 種

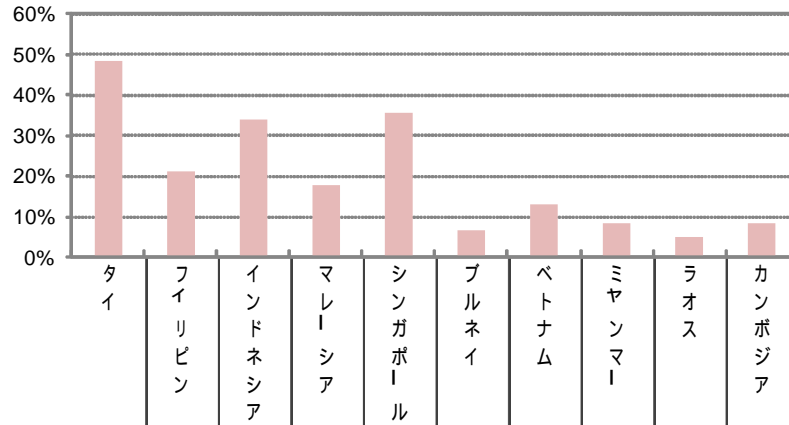


性別 × 年齢	人数	業種 (%)										
		IT・インターネット	製造・メーカー	サービス・流通	小売・フード	商社・エネルギー	金融・保険	不動産・建設・設備	運輸・物流・倉庫	医療・福祉・教育	公務員・特殊法人	その他
男性 25～34歳	(200)	15.0%	35.0%	9.5%	6.0%	6.5%	7.0%	3.5%	6.5%	10.5%	0.5%	
男性 35～44歳	(200)	13.0%	34.5%	10.5%	7.0%	7.5%	6.0%	3.5%	7.0%	11.0%	-	
女性 25～34歳	(100)	8.0%	14.0%	15.0%	9.0%	12.0%	10.0%	4.0%	16.0%	8.0%	4.0%	
女性 35～44歳	(100)	10.0%	15.0%	11.0%	6.0%	5.0%	12.0%	4.0%	20.0%	5.0%	12.0%	
職種	営業職 (111)	18.0%	21.6%	10.8%	12.6%	16.2%	9.9%	4.5%	4.5%	1.8%	-	
	サービス・販売・店長職 (57)	8.8%	10.5%	35.1%	5.3%	3.5%	5.3%	7.0%	19.3%	1.8%	3.5%	
	総合事務 (128)	10.9%	26.6%	14.1%	11.7%	6.3%	5.5%	2.3%	3.9%	14.8%	3.9%	
	経理・財務・法務 (58)	5.2%	19.0%	10.3%	10.3%	15.5%	12.1%	6.9%	1.7%	10.3%	8.6%	
	メーカー技術職 (85)	2.4%	77.6%	5.9%	-	1.2%	2.4%	2.4%	4.7%	3.5%	-	
	高度専門技術職 (25)	4.0%	48.0%	-	4.0%	-	32.0%	-	8.0%	4.0%	-	
	IT技術職 (41)	70.7%	7.3%	2.4%	-	2.4%	7.3%	-	2.4%	4.9%	2.4%	
	専門職 (51)	-	5.9%	5.9%	-	11.8%	9.8%	5.9%	35.3%	21.6%	3.9%	
	労務職 (21)	-	42.9%	4.8%	4.8%	-	9.5%	4.8%	14.3%	19.0%	-	
	その他 (23)	-	-	-	4.3%	-	-	-	56.5%	30.4%	8.7%	
勤務希望国 (1位+2位)	タイ (287)	10.5%	31.4%	9.4%	6.6%	7.7%	8.0%	4.2%	9.1%	10.1%	3.1%	
	フィリピン (76)	21.1%	31.6%	10.5%	7.9%	6.6%	3.9%	3.9%	6.6%	7.9%	-	
	インドネシア (110)	12.7%	31.8%	16.4%	5.5%	5.5%	10.9%	3.6%	7.3%	4.5%	1.8%	
	マレーシア (172)	13.4%	27.3%	13.4%	8.1%	8.1%	7.0%	2.3%	11.6%	6.4%	2.3%	
	シンガポール (344)	12.5%	27.3%	10.2%	6.1%	9.3%	9.0%	4.1%	10.2%	8.7%	2.6%	
	ブルネイ (20)	-	20.0%	15.0%	20.0%	-	-	10.0%	10.0%	15.0%	10.0%	
	ベトナム (111)	9.0%	27.0%	9.0%	6.3%	8.1%	8.1%	0.9%	15.3%	11.7%	4.5%	
	ミャンマー (25)	16.0%	20.0%	12.0%	12.0%	4.0%	-	-	16.0%	16.0%	4.0%	
	ラオス (22)	13.6%	9.1%	9.1%	4.5%	-	4.5%	9.1%	18.2%	22.7%	9.1%	
	カンボジア (33)	15.2%	15.2%	9.1%	3.0%	3.0%	15.2%	6.1%	15.2%	18.2%	-	

性別 × 年齢	人数	職種 (%)										
		営業職	サービス・販売・店長職	総合事務 (企画・経営等)	経理・財務・法務	メーカー技術職 (研究開発、生産管理等)	高度専門技術職 (プラントエンジニア、建築士、施工管理技士等)	IT技術職 (システムエンジニア、プログラマー等)	専門職 (コンサルタント等)	労務職 (現場作業員等)	その他	
男性 25～34歳	(200)	19.0%	8.0%	17.0%	10.0%	16.0%	5.5%	9.0%	8.0%	5.0%	2.5%	
男性 35～44歳	(200)	27.0%	9.5%	15.5%	4.0%	20.0%	4.5%	7.5%	6.0%	5.0%	1.0%	
女性 25～34歳	(100)	11.0%	13.0%	36.0%	13.0%	4.0%	4.0%	2.0%	12.0%	-	5.0%	
女性 35～44歳	(100)	8.0%	9.0%	27.0%	17.0%	9.0%	1.0%	6.0%	11.0%	1.0%	11.0%	
業 種	IT・通信・インターネット (74)	27.0%	6.8%	18.9%	4.1%	2.7%	1.4%	39.2%	-	-	-	
	製造・メーカー (168)	14.3%	3.6%	20.2%	6.5%	39.3%	7.1%	1.8%	1.8%	5.4%	-	
	サービス・流通・小売・フード (66)	18.2%	30.3%	27.3%	9.1%	7.6%	-	1.5%	4.5%	1.5%	-	
	商社・エネルギー (41)	34.1%	7.3%	36.6%	14.6%	-	2.4%	-	-	2.4%	2.4%	
	金融・保険 (45)	40.0%	4.4%	17.8%	20.0%	2.2%	-	2.2%	13.3%	-	-	
	不動産・建設・設備 (48)	22.9%	6.3%	14.6%	14.6%	4.2%	16.7%	6.3%	10.4%	4.2%	-	
	運輸・交通・物流・倉庫 (22)	22.7%	18.2%	13.6%	18.2%	9.1%	-	-	13.6%	4.5%	-	
	医療・福祉・教育 (63)	7.9%	17.5%	7.9%	1.6%	6.3%	3.2%	1.6%	28.6%	4.8%	20.6%	
	公務員・特殊法人 (56)	3.6%	1.8%	33.9%	10.7%	5.4%	1.8%	3.6%	19.6%	7.1%	12.5%	
	その他 (17)	-	11.8%	29.4%	29.4%	-	-	5.9%	11.8%	-	11.8%	
	勤務希望国 (1位+2位)	タイ (287)	18.1%	8.4%	20.9%	8.0%	17.8%	3.1%	5.2%	9.8%	4.9%	3.8%
		フィリピン (76)	27.6%	10.5%	17.1%	5.3%	13.2%	2.6%	10.5%	5.3%	6.6%	1.3%
		インドネシア (110)	13.6%	15.5%	21.8%	7.3%	17.3%	2.7%	8.2%	8.2%	3.6%	1.8%
マレーシア (172)		16.9%	13.4%	22.1%	9.9%	14.0%	6.4%	6.4%	5.2%	1.7%	4.1%	
シンガポール (344)		17.7%	8.1%	22.4%	12.2%	12.8%	5.2%	7.0%	8.1%	3.2%	3.2%	
ブルネイ (20)		25.0%	5.0%	30.0%	20.0%	-	-	-	15.0%	-	5.0%	
ベトナム (111)		19.8%	3.6%	18.9%	10.8%	14.4%	4.5%	9.0%	7.2%	3.6%	8.1%	
ミャンマー (25)		28.0%	8.0%	20.0%	8.0%	12.0%	-	4.0%	12.0%	-	8.0%	
ラオス (22)		13.6%	13.6%	18.2%	9.1%	9.1%	-	9.1%	27.3%	-	-	
カンボジア (33)		21.2%	12.1%	24.2%	6.1%	3.0%	6.1%	6.1%	12.1%	3.0%	6.1%	

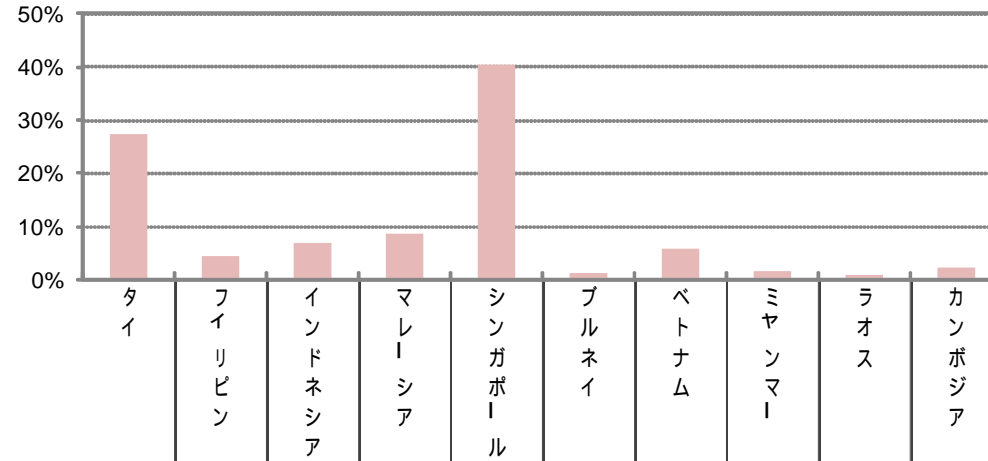
勤務経験のあるASEAN諸国

(ASEAN諸国勤務経験ありベース)



■ 全 体 (62) 48.4% 21.0% 33.9% 17.7% 35.5% 6.5% 12.9% 8.1% 4.8% 8.1%

性別 × 年齢	全 体		タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ブルネイ	ベトナム	ミヤンマー	ラオス	カンボジア
	男性 25～34歳	(18)	38.9%	22.2%	33.3%	22.2%	33.3%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%
男性 35～44歳	(26)	50.0%	15.4%	30.8%	11.5%	26.9%	-	7.7%	-	-	-	-
女性 25～34歳	(13)	69.2%	30.8%	46.2%	23.1%	46.2%	15.4%	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%	-
女性 35～44歳	(5)	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	60.0%	-	-	-	-	-	-



■ 全体 (600) 27.5% 4.5% 6.7% 8.8% 40.5% 1.3% 5.8% 1.7% 0.8% 2.3%

性別 × 年齢	男性 25～34歳	(200)	27.0%	6.0%	9.0%	9.0%	40.0%	0.5%	4.0%	1.5%	1.5%	1.5%
	男性 35～44歳	(200)	33.0%	5.0%	8.0%	7.5%	36.0%	0.5%	6.0%	2.0%	0.5%	1.5%
	女性 25～34歳	(100)	21.0%	3.0%	2.0%	8.0%	50.0%	1.0%	9.0%	-	-	6.0%
	女性 35～44歳	(100)	24.0%	2.0%	4.0%	12.0%	41.0%	5.0%	6.0%	3.0%	1.0%	2.0%
業種	IT・通信・インターネット	(74)	27.0%	5.4%	9.5%	9.5%	41.9%	-	4.1%	-	1.4%	1.4%
	製造・メーカー	(168)	29.8%	7.1%	6.5%	7.1%	41.1%	0.6%	5.4%	1.2%	-	1.2%
	サービス・流通・小売・フード	(66)	25.8%	4.5%	13.6%	13.6%	28.8%	3.0%	3.0%	3.0%	-	4.5%
	商社・エネルギー	(41)	26.8%	-	4.9%	17.1%	36.6%	2.4%	7.3%	4.9%	-	-
	金融・保険	(45)	22.2%	6.7%	2.2%	6.7%	57.8%	-	4.4%	-	-	-
	不動産・建設・設備	(48)	25.0%	2.1%	10.4%	8.3%	37.5%	-	8.3%	-	2.1%	6.3%
	運輸・交通・物流・倉庫	(22)	27.3%	4.5%	4.5%	4.5%	50.0%	4.5%	4.5%	-	-	-
	医療・福祉・教育	(63)	25.4%	1.6%	3.2%	6.3%	42.9%	-	9.5%	3.2%	1.6%	6.3%
	公務員・特殊法人	(56)	32.1%	3.6%	1.8%	7.1%	39.3%	1.8%	5.4%	3.6%	3.6%	1.8%
	その他	(17)	29.4%	-	5.9%	11.8%	29.4%	11.8%	11.8%	-	-	-